

# プ ロ グ ラ ム

特 別 講 演  
招 請 講 演  
会 長 講 演  
教 育 講 演  
シ ン ポ ジ ウ ム  
ワ ー ク シ ョ ッ プ  
ラ ン チ ョ ン セ ミ ナ ー  
A R T F o r u m ' 1 3  
市 民 公 開 講 座



## **Special Lecture 1／特別講演 1**

8月8日（木）9:00～9:40 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### **日本受精着床学会 30年の歩みとARTの今後**

演者：鈴木 秋悦（生殖バイオロジー 東京シンポジウム）

座長：宮川 勇生（大分大学 名誉教授）

## **Special Lecture 2／特別講演 2**

8月8日（木）13:10～13:50 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### **これからの生殖医療**

演者：吉村 泰典（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室）

座長：堤 治（医療法人財団順和会 山王病院 リプロダクションセンター）

## **Special Lecture 3／招請講演 1**

8月8日（木）13:50～14:35 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### **Regulation and Ethics in ART - A UK National and International Perspective**

演者：Peter Robert Brinsden（Bourn Hall Clinic International）

座長：神崎 秀陽（関西医科大学 産科婦人科学教室）

## **Special Lecture 4／招請講演 2**

8月8日（木）14:35～15:20 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### **PGD and carrier screening for infertile couples**

演者：Santiago Munné（Recombine and Reprogenetics）

座長：田中 温（セントマザー産婦人科医院）

## Special Lecture 5 / 招請講演 3

8月9日（金）11:05～11:50 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### 生殖細胞の発生機構とその試験管内再構成

演者：斎藤 通紀<sup>1,2,3,4</sup>（<sup>1</sup>京都大学大学院 医学研究科 機能微細形態学、<sup>2</sup>科学技術振興機構 ERATO、  
<sup>3</sup>京都大学 物質-細胞統合システム拠点、<sup>4</sup>京都大学 iPS細胞研究所）

座長：今井 裕（京都大学 農学研究科 応用生物科学専攻生殖生物学研究室）

## Special Lecture 6 / 会長講演

8月8日（木）18:00～18:30 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

### これからの生殖医療—生まれてくるこどものために—

演者：宇津宮 隆史（セント・ルカ産婦人科）

座長：森 崇英（京都大学 名誉教授、生殖再生医学アカデミア 理事長）

## 教育講演 1

8月8日（木）10:20～11:00 第2会場（2F レセプションホール）

### 間脳-下垂体系による生殖機能調節

演者：金崎 春彦（島根大学 医学部 産科婦人科）

座長：小辻 文和（高槻病院総合周産期母子医療センター）

## 教育講演 2

8月8日（木）11:00～11:40 第2会場（2F レセプションホール）

### 加齢と生殖機能

演者：宮川 勇生（大分大学 名誉教授）

座長：田中 俊誠（秋田大学 医学部 産婦人科）

## 教育講演 3

8月8日(木) 13:10～13:50 第4会場(1F 中会議室)

### 不妊治療における夫婦関係への支援—夫婦の関係性を軸に

演者：平木 典子(統合的心理療法研究所 (IPI))

座長：久保 春海(NPO法人日本不妊予防協会 渋谷橋レディースクリニック)

## 教育講演 4

8月9日(金) 10:20～11:00 第2会場(2F レセプションホール)

### 子宮腺筋症合併不妊症に対する治療成績および妊娠予後について

#### —日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告—

演者：田村 博史(山口大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学)

座長：深谷 孝夫(高知大学 医学部 産科婦人科学講座)

## シンポジウム1「胚の品質評価と良好胚の選択」

共催：扶桑薬品工業株式会社

8月8日(木) 9:50～11:50 第1会場(1F フィルハーモニアホール)

座長：細井 美彦(近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科)

見尾 保幸(ミオ・ファティリティ・クリニック リプロダクティブセンター)

S1-1 卵細胞質内の形態異常 (sERC) とその詳細評価

永井クリニック

○大月 純子、永井 泰

S1-2 紡錘体観察による胚評価と臨床的有用性

医療法人 IVF 詠田クリニック

泊 博幸

S1-3 ヒト発育遅延胚の発育経過のイメージング：紡錘体形成異常の増加と着床能の低下

<sup>1</sup>医療法人三慧会 IVF なんばクリニック、<sup>2</sup>大阪大学微生物病研究所

○橋本 周<sup>1</sup>、山縣 一夫<sup>2</sup>、中岡 義晴<sup>1</sup>、森本 義晴<sup>1</sup>

S1-4 Time-lapse cinematography による動的解析から見た胚のクオリティ評価

ミオ・ファティリティ・クリニック リプロダクティブセンター

岩田 京子

- S1-5 電気化学計測技術を応用したヒト胚品質評価法の開発と不妊治療における臨床的有用性に関する研究  
<sup>1</sup>セント・ルカ産婦人科、<sup>2</sup>高度生殖医療技術研究所、<sup>3</sup>山形大学大学院 理工学研究科  
○熊迫 陽子<sup>1,3</sup>、後藤 香里<sup>1</sup>、小池 恵<sup>1</sup>、大津 英子<sup>1</sup>、長木 美幸<sup>1</sup>、城戸 京子<sup>1</sup>、  
佐藤 晶子<sup>1</sup>、宇津宮 隆史<sup>1</sup>、荒木 康久<sup>2</sup>、阿部 宏之<sup>3</sup>

## シンポジウム 2 「非配偶者間生殖医療」

共催：富士製薬工業株式会社

8月8日（木）15:30～17:50 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

座長： 宇津宮 隆史（セント・ルカ産婦人科）

吉村 泰典（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室）

S2-1 非配偶者間人工授精治療の現状と展望

慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室

久慈 直昭

S2-2 非配偶者間人工授精で生まれた子どもからの提言：「卵子バンク」は子どもの出自を知る権利に配慮できるか

横浜市立大学附属 市民総合医療センター 感染制御部

加藤 英明

S2-3 DI（非配偶者間人工授精）で生まれた子どもの立場からみた生殖技術の問題点

非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ（DI Offspring Group）

石塚 幸子

S2-4 生まれた子どもの出自を知る権利

帝塚山大学 心理福祉学部

才村 真理

S2-5 非配偶者間生殖医療と法整備－生殖補助医療の法制化に関する日本医師会提案－

日本医師会

今村 定臣

S2-6 「生まれた命にありがとう」

衆議院議員

野田 聖子

## シンポジウム 3 「男性不妊症の基礎と臨床」

共催：メルクセローノ株式会社

8月8日（木）13:10～15:10 第3会場（3F 国際会議室）

座長： 年森 清隆（千葉大学大学院 医学研究院 生殖生物医学講座）

- S3-1 精子形成と血液精巣関門  
 神戸大学大学院 医学研究科 腎泌尿器科学分野  
 ○千葉 公嗣、藤澤 正人
- S3-2 精子精密検査による ART の安全性管理  
 東京歯科大学 市川総合病院 リプロダクションセンター（婦人科）  
 兼子 智
- S3-3 男性不妊症の超音波診断  
<sup>1</sup>天神つじクリニック、<sup>2</sup>恵比寿つじクリニック  
 辻 祐治<sup>1,2</sup>
- S3-4 婦人科クリニックとの連携による男性不妊症診療  
<sup>1</sup>千葉大学大学院 医学研究院 泌尿器科学、<sup>2</sup>高橋ウイメンズクリニック  
 ○市川 智彦<sup>1</sup>、今本 敬<sup>1</sup>、高橋 敬一<sup>2</sup>

## シンポジウム 4 「子宮内膜症性嚢胞と卵巣予備能」

8月8日（木）15:20～17:00 第3会場（3F 国際会議室）

座長：北脇 城（京都府立医科大学 産婦人科学教室）

- S4-1 卵巣チョコレート嚢胞と卵巣予備能 —腹腔鏡下手術の観点から—  
 日本医科大学 産婦人科  
 明樂 重夫
- S4-2 卵巣チョコレート嚢胞形成過程が卵巣予備能に与える影響  
<sup>1</sup>長崎大学 医学部 産婦人科、<sup>2</sup>Pole de Recherche en Gynecologie, Institut de Recherche Experimentale et Clinique, Universite Catholique de Louvain, Brussels、<sup>3</sup>Belgium Infertility Research Unit (SRI), Brussels, Belgium  
 ○北島 道夫<sup>1</sup>、Van Langendonck Anne<sup>2</sup>、Dolmans Marie-Madeleine<sup>2</sup>、Donnez Jacques<sup>3</sup>、  
 増崎 英明<sup>1</sup>
- S4-3 「本邦における子宮内膜症治療が妊孕能に与える影響に関する検討小委員会」調査報告  
<sup>1</sup>京都府立医科大学 産婦人科、<sup>2</sup>東京医科歯科大学 産婦人科、<sup>3</sup>鳥取大学 産婦人科、  
<sup>4</sup>群馬大学 産婦人科、<sup>5</sup>聖路加国際病院 産婦人科、<sup>6</sup>医療法人三慧会 IVF なんばクリニック、  
<sup>7</sup>群馬大学 保健学  
 ○岩佐 弘一<sup>1</sup>、久保田 俊郎<sup>2</sup>、原田 省<sup>3</sup>、峯岸 敬<sup>4</sup>、百枝 幹雄<sup>5</sup>、森本 義晴<sup>6</sup>、  
 林 邦彦<sup>7</sup>、北脇 城<sup>1</sup>
- S4-4 子宮内膜症性卵巣嚢腫のエタノール固定後の卵巣予備能、再発、悪性化について  
 セント・ルカ産婦人科  
 ○河邊 史子、越光 直子、長木 美幸、宇津宮 隆史

## シンポジウム5「子宮内膜症：不妊への連鎖を紐解く」

8月8日（木）9:00～10:40 第4会場（1F 中会議室）

座長： 梶原 久司（大分大学 医学部 産科婦人科）  
村上 節（滋賀医科大学 産科学婦人科学講座）

- S5-1 子宮内膜症の病態における細菌性エンドトキシンの役割とその妊孕能に及ぼす影響  
<sup>1</sup>長崎大学 医学部 産婦人科、<sup>2</sup>済生会 長崎病院 産婦人科  
○カーン・カレク<sup>1</sup>、北島 道夫<sup>1</sup>、藤下 晃<sup>2</sup>、増崎 英明<sup>1</sup>
- S5-2 子宮内膜症における慢性子宮内膜炎の意義  
滋賀医科大学 医学部 産婦人科学教室  
木村 文則
- S5-3 子宮内膜症における癥痕化と不妊症の発症メカニズム  
<sup>1</sup>大分大学 医学部 地域医療支援システム・産婦人科分野、<sup>2</sup>大分大学 医学部 産科婦人科  
奈須 家栄<sup>1,2</sup>
- S5-4 卵巣チョコレート嚢胞への腹腔鏡下手術と術後管理～妊孕性を温存して不妊治療につなげるために～  
<sup>1</sup>倉敷成人病センター 産科婦人科、<sup>2</sup>倉敷成人病クリニック 体外受精センター、  
<sup>3</sup>倉敷平成病院 婦人科  
○太田 啓明<sup>1</sup>、安藤 正明<sup>1</sup>、高野 みずき<sup>1</sup>、黒土 升蔵<sup>1</sup>、海老沢 桂子<sup>1</sup>、  
藤原 和子<sup>1</sup>、羽田 智則<sup>1</sup>、金尾 祐之<sup>1</sup>、本山 洋明<sup>2</sup>、太田 郁子<sup>3</sup>

## シンポジウム6「治療終結における支援」

8月8日（木）13:50～15:40 第4会場（1F 中会議室）

座長： 詠田 由美（医療法人IVF 詠田クリニック）  
平山 史朗（東京 HART クリニック カウンセリング部）

- S6-1 「治療終結における支援」看護学研究者の立場から  
大分県立看護科学大学  
實崎 美奈
- S6-2 治療別の年齢の限界と心のサポート  
医療法人社団 神谷レディースクリニック  
神谷 博文
- S6-3 患者自身の治療終結への思いと看護師の支援  
医療法人三慧会 IVF なんばクリニック  
○杉本 朱実、神原 好美、浅井 麻利子、中岡 義晴、森本 義晴
- S6-4 治療終結における支援－心理士の立場から－  
セント・ルカ産婦人科  
上野 桂子
- S6-5 ご夫婦二人の生活を選択された元患者さん

## シンポジウム7「安全性と成績向上を目指した胚の凍結保存」

共催：株式会社北里コーポレーション／ヴィトロライフ株式会社

8月9日（金）9:00～11:00 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

座長： 柳田 薫（国際医療福祉大学病院 リプロダクションセンター）  
横田 佳昌（横田マタニティーホスピタル 生殖医療婦人科）

S7-1 ガラス化胚盤胞融解後移植による12年間の周産期報告（6467周期、2059出生児）とその安全性に関する考察

<sup>1</sup>広島HARTクリニック、<sup>2</sup>東京HARTクリニック

○向田 哲規<sup>1</sup>、寄田 朋子<sup>1</sup>、高橋 克彦<sup>1</sup>、吉野 弘美<sup>2</sup>、田島 敏秀<sup>2</sup>、後藤 哲也<sup>2</sup>、岡 親弘<sup>2</sup>

S7-2 ストローを用いた閉鎖系凍結システム（胚盤胞のvitrification法で出産した児の調査を踏まえて）

横田マタニティーホスピタル 生殖医療婦人科

○佐藤 節子、横田 佳昌

S7-3 閉鎖系ガラス化保存法（Rapid-i法）の臨床成績

<sup>1</sup>医療法人三慧会 IVF大阪クリニック、<sup>2</sup>医療法人三慧会 IVFなんばクリニック

○水野 里志<sup>1</sup>、福田 愛作<sup>1</sup>、森本 義晴<sup>2</sup>

S7-4 新たな閉鎖系vitrification法を用いた胚盤胞の凍結融解胚移植における臨床成績の比較

セント・ルカ産婦人科

○城戸 京子、熊迫 陽子、小池 恵、佐藤 晶子、後藤 香里、長木 美幸、大津 英子、宇津宮 隆史

## シンポジウム8「ARTとエピゲノムー児の将来を見据えてー」

8月9日（金）9:00～10:40 第3会場（3F 国際会議室）

座長： 河野 友宏（東京農業大学 応用生物科学部 バイオサイエンス学科）  
佐々木 裕之（九州大学 生体防御医学研究所）

S8-1 胎生期環境と疾患素因としてのエピゲノム変化

山梨大学 医学部 環境遺伝医学講座

○久保田 健夫、小幡 千枝、前山 弘樹、平澤 孝枝

S8-2 卵子形成過程におけるエピジェネティクス

東京農業大学 応用生物科学部 バイオサイエンス学科

尾畑 やよい

S8-3 ARTと先天性インプリント異常症の発症リスク

東北大学 医学系研究科 情報遺伝学

有馬 隆博

S8-4 生殖補助医療インプリンティング疾患発症

浜松医科大学 小児科

緒方 勤

## シンポジウム 9 「不妊症および不妊に関連する疾患の内視鏡手術」

8月9日（金）13:40～15:20 第3会場（3F 国際会議室）

座長： 堤 治（医療法人財団順和会 山王病院 リプロダクションセンター）

- S9-1 子宮筋腫合併不妊に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術  
東京大学 医学部 産科婦人科学教室  
甲賀 かをり
- S9-2 粘膜下子宮筋腫の子宮鏡手術  
滋賀医科大学 産科学婦人科学講座  
○高島 明子、村上 節
- S9-3 子宮内膜症合併不妊に対する腹腔鏡手術の功罪  
鳥取大学 医学部 産科婦人科  
○出浦 伊万里、谷口 文紀、岩部 富夫、原田 省
- S9-4 卵管を見直そう－故きを温ねて新しきを知る（卵管鏡と ZIFT より得られること）－  
杉山産婦人科 生殖医療科  
中川 浩次

## シンポジウム 10 「これからの着床前診断」

8月9日（金）13:40～15:40 第4会場（1F 中会議室）

座長： 末岡 浩（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室）

福田 愛作（医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック）

- S10-1 ART 最前線における着床前診断の現状と課題（オーバービュー）  
<sup>1</sup>医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック、<sup>2</sup>医療法人三慧会 IVF なんばクリニック  
○福田 愛作<sup>1</sup>、山本 あゆみ<sup>1</sup>、大垣 彩<sup>1</sup>、中岡 義晴<sup>2</sup>、森本 義晴<sup>2</sup>
- S10-2 当院における PGD の現状について－ PGD の基礎実験と臨床データならびに今後の展望－  
竹内レディースクリニック  
竹内 一浩
- S10-3 これからの着床前診断の検査法としての array Comparative Genomic Hybridization 法  
<sup>1</sup>医療法人三慧会 IVF なんばクリニック、<sup>2</sup>医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック  
○中岡 義晴<sup>1</sup>、森本 義晴<sup>1</sup>、福田 愛作<sup>2</sup>
- S10-4 着床前診断実施施設の課題と問題点  
加藤レディースクリニック  
青山 直樹
- S10-5 これからの着床前診断－カウンセリングを行う立場から－  
医療法人天神会 新古賀クリニック 婦人科  
斎藤 伸道

## シンポジウム 11 「多嚢胞性卵巣症候群のこれから －臨床応用に向けての基礎的知識と今後の展望－」

8月9日（金）9:00～10:40 第5会場（B1F リハーサル室）

座長： 生水 真紀夫（千葉大学大学院 医学研究院 生殖機能病態学）  
堂地 勉（鹿児島大学 医学部 産婦人科学）

S11-1 多嚢胞性卵巣症候群における卵胞発育停止メカニズム  
福井大学 産科婦人科  
折坂 誠

S11-2 LH分泌に焦点をあてた多嚢胞性卵巣症候群の病態解析 動物モデルを用いたゴナドトロピン  
分泌中枢の検討から  
名古屋大学 医学部 産婦人科  
○岩瀬 明、中原 辰夫、近藤 美佳、大須賀 智子、齋藤 愛、森 正彦、杉田 敦子、  
中村 智子、後藤 真紀、吉川 史隆

S11-3 Etiology としての高アンドロゲンの改善を目指した PCOS の治療戦略  
札幌医科大学 医学部 産婦人科学教室  
馬場 剛

S11-4 顆粒膜細胞におけるメトフォルミンの作用  
～ AMP-activated protein kinase (AMPK) の活性化による生理活性物質の産生調節～  
大分大学 医学部 産科婦人科  
河野 康志

## ワークショップ 1 「基礎研究から臨床応用へ」

8月8日（木）15:40～17:20 第4会場（1F 中会議室）

座長： 倉智 博久（山形大学 医学部 産科婦人科）  
牧野田 知（金沢医科大学 産科婦人科学講座 生殖周産期医学部門）

WS1-1 紡錘体形成メカニズムからみた成熟卵子のクオリティー評価  
東北大学大学院 農学研究科 動物生殖科学分野  
星野 由美

WS1-2 ライブセルイメージングで「卵子の質」を評価する  
大阪大学 微生物病研究所  
山縣 一夫

WS1-3 先端工学技術を応用した生殖細胞品質診断システムの開発と臨床応用  
山形大学大学院 理工学研究科 バイオ化学工学専攻  
阿部 宏之

WS1-4 卵胞活性化技術（IVA: in vitro activation）を用いた早発卵巣機能不全患者の新たな不妊治療法  
聖マリアンナ医科大学 産婦人科学  
河村 和弘

## ワークショップ2「着床に関する最新知見」

8月9日（金）13:40～15:20 第2会場（2F レセプションホール）

座長： 杉野 法広（山口大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学）

WS2-1 着床にむけたプロゲステロンおよびTGF $\beta$ の相互作用による子宮内膜への働きかけ

<sup>1</sup>福岡大学 医学部 産婦人科、<sup>2</sup>University of Texas, Southwestern Medical Center

○伊東 裕子<sup>1</sup>、城田 京子<sup>1</sup>、Word Ruth Ann<sup>2</sup>、宮本 新吾<sup>1</sup>

WS2-2 プロゲステロン・シグナルと着床～マウスモデルから得た新しい知見

<sup>1</sup>東京大学 医学部 産婦人科、<sup>2</sup>科学技術振興機構さきがけ、<sup>3</sup>東京大学 農学部 獣医学科

○廣田 泰<sup>1,2</sup>、原口 広史<sup>1</sup>、藤田 知子<sup>1</sup>、江頭 真宏<sup>1,3</sup>、大須賀 穰<sup>1</sup>、藤井 知行<sup>1</sup>

WS2-3 着床におけるエピジェネティクスと上皮間葉転換（epithelial-to-mesenchymal transition, EMT）

慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室

○丸山 哲夫、内田 浩

WS2-4 ヒト子宮内膜間質細胞(ESC)における脱落膜化関連遺伝子発現のエピジェネティクス調節

山口大学 医学部 産婦人科学

田村 功

## ワークショップ3「看護部のヒヤリ・ハット」

共催：フェリング・ファーマ株式会社

8月9日（金）9:00～10:30 第4会場（1F 中会議室）

座長： 出口 美寿恵（広島 HART クリニック）

村上 貴美子（医療法人蔵本ウイメンズクリニック）

WS3-1 当院看護部のヒヤリ・ハットに対する取り組み

医療法人 IVF 詠田クリニック

愛甲 恵利子

WS3-2 当クリニックにおけるヒヤリハットの事例

醍醐渡辺クリニック

山崎 やよい

WS3-3 当院における医療安全対策と今後の課題

セント・ルカ産婦人科

後藤 裕子

WS3-4 「看護師が遭遇するヒヤリ・ハット」－チームで取り組む医療安全－

医療法人社団 岡山二人クリニック

定本 幸子

## ランチョンセミナー

8月8日(木) 12:00～13:00

### ランチョンセミナー1 第2会場(2F レセプションホール)

「ART 難治症例における卵巣刺激法を含めた総合戦略」

演者：福田 愛作(医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック)

座長：苛原 稔(徳島大学 医学部 産科婦人科学教室)

共催：メルクセローノ株式会社

### ランチョンセミナー2 第3会場(3F 国際会議室)

「ラボ業務のトラブルシューティング」

演者：江頭 昭義(医療法人蔵本ウイメンズクリニック)

沖津 摂(三宅医院 生殖医療センター)

座長：吉田 仁秋(吉田レディースクリニック)

共催：オリンパス株式会社

### ランチョンセミナー3 第4会場(1F 中会議室)

「精液処理及び凍結の注意点について」

演者：島田 昌之(広島大学大学院 生物圏科学研究科)

座長：市川 智彦(千葉大学大学院 医学研究院 泌尿器科学)

共催：大陽日酸株式会社

### ランチョンセミナー4 第5会場(B1F リハーサル室)

「クロミフェン抵抗性のPCOSに対するグリスリンの有効性について」

演者：田中 温(セントマザー産婦人科医院)

座長：柳瀬 敏彦(福岡大学病院内分泌糖尿病内科)

共催：株式会社サン・メディカ/Mushroom Wisdom, Inc.

## ランチョンセミナー

8月9日（金）12:00～13:00

ランチョンセミナー5 第2会場（2F レセプションホール）

「私の調節卵巣刺激法～hCG driven LH activity～」

演者：吉田 淳（生新会 木場公園クリニック）

座長：蔵本 武志（医療法人蔵本ウイメンズクリニック）

共催：フェリング・ファーマ株式会社

ランチョンセミナー6 第3会場（3F 国際会議室）

「子宮内膜症に対する統合的治療戦略－薬物療法・手術療法・ARTのベストミックスへ－」

演者：藤原 敏博（医療法人財団順和会 山王病院 リプロダクション・婦人科内視鏡治療センター）

座長：柴原 浩章（兵庫医科大学 産科婦人科）

共催：持田製薬株式会社

ランチョンセミナー7 第5会場（B1F リハーサル室）

「胚培養士から見た難治症例と胚の選択」

演者：内山 一男（加藤レディスクリニック）

竹本 洋一（セントマザー産婦人科医院）

大津 英子（セント・ルカ産婦人科）

座長：荒木 康久（高度生殖医療技術研究所）

共催：MSD 株式会社

# ART (Assisted Reproductive Technology) Forum '13

日本に於ける Assisted Reproductive Technology のさらなる発展、飛躍の一助となることを目的とする

I 日 時：8月8日（木）15:20～17:20

II 会 場：第5会場（B1F リハーサル室）

III 講演内容：

## 「難病に対する生殖医療のアプローチ」

第31回日本受精着床学会総会・学術講演会会長挨拶：宇津宮 隆史

### 講演1. 難病に対する生殖医療の近未来—新たな対策の方向性を求めて—

演 者：後藤 雄一（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所  
疾病研究第二部 部長

トランスレーショナル・メディカルセンター 副センター長）

座 長：森 崇英（京都大学 名誉教授、生殖再生医学アカデミア 理事長）

### 講演2. 難病に対する着床前遺伝子診断

演 者：末岡 浩（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室 准教授）

座 長：堤 治（医療法人財団順和会 山王病院 院長）

### 講演3. 発生工学技術を用いた細胞質置換・核置換による難病治療への貢献

演 者：細井 美彦（近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科 教授）

座 長：森本 義晴（IVF JAPAN CEO&Chairman）

### 講演4. 生殖医療から見たiPS細胞研究の可能性

演 者：野瀬 俊明（慶應義塾大学 先端研究センター 特任教授）

座 長：今井 裕（京都大学 農学研究科 応用生物科学専攻生殖生物学研究室 教授）

IV 参加費：無料

V 専門医シール：日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明シール配布

## 市民公開講座「がん患者と生殖医療」

協賛：株式会社エスアールエル／江藤酸素株式会社／富士製薬工業株式会社  
／パナソニックヘルスケア株式会社／株式会社大分銀行

8月9日（金）14:30～16:30 第1会場（1F フィルハーモニアホール）

座長： 石塚 文平（聖マリアンナ医科大学 高度生殖医療技術開発講座）  
石原 理（埼玉医科大学 産科婦人科学教室）

市民公開-1 私たちのパパやママは元白血病患者でした！

～自分が果たせなかった夢を次世代の患者さんへ託した私～

元白血病患者

大谷 貴子

市民公開-2 抗がん剤（シクロフォスファミド:CPA）投与によるマウス生殖機能への影響

<sup>1</sup>セント・ルカ産婦人科、<sup>2</sup>高度生殖医療技術研究所

○小池 恵<sup>1</sup>、熊迫 陽子<sup>1</sup>、大津 英子<sup>1</sup>、荒木 泰行<sup>2</sup>、荒木 康久<sup>2</sup>、宇津宮 隆史<sup>1</sup>

市民公開-3 未婚女性造血器疾患患者の卵子凍結保存、A-PART日本支部の活動経験から

<sup>1</sup>加藤レディースクリニック 研究開発部、<sup>2</sup>A-PART日本支部臨床研究事務局

青野 文仁<sup>1,2</sup>

市民公開-4 がん患者と生殖医療－泌尿器科医の立場から－

獨協医科大学越谷病院 泌尿器科

岡田 弘

市民公開-5 がん患者と生殖医療－乳腺科医の立場から－

<sup>1</sup>国立病院機構 九州がんセンター 臨床研究センター、<sup>2</sup>国立病院機構 九州がんセンター 乳腺科

○大野 真司<sup>1</sup>、古閑 知奈美<sup>2</sup>、厚井 裕三子<sup>2</sup>、猿渡 彰洋<sup>2</sup>、井川 明子<sup>2</sup>、  
及川 将弘<sup>2</sup>、秋吉 清百合<sup>2</sup>、西村 純子<sup>2</sup>、中村 吉昭<sup>2</sup>、石田 真弓<sup>2</sup>

市民公開-6 がんと生殖における妊孕性温存の診療 up to date

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学

鈴木 直